

「旧正月直前より急拡大した、北部ベトナムでの新型コロナ感染」

中川 良一

＜始まり＞

1月26日、日本の厚生労働省はベトナムから日本に到着したベトナム人乗客1名に、英国で報告された新型コロナウイルス感染症の変異株が確認されたことを発表しました。感染者は1月17日にベトナムから関西国際空港に到着した30代女性で、入国時には既に咳等の症状があったそうです。その後、空港検疫にて感染が確認されました。当該女性の出身地は北部红河デルタ地方ハイズオン省チーリン市フンダオ村で、同地区の工業団地に所在する台湾系縫製会社に勤めていました。

女性は日本への出発前、PCR検査を受け陰性結果を取得したうえで技能実習生として1月17日ハノイ市ノイバイ国際空港からシンガポール経由で関西空港に向かいました。この日本からの連絡を受け、27日にベトナム当局による濃厚接触者調査で16名が特定され、全員隔離措置と住居などの消毒が実施されましたが、その後、女性が勤めていた工場従業員から一挙に80名近い感染者が見つかり、ベトナムは大騒動になりました。

【1月27日～2月16日の地域別感染者数】

(帰国隔離中の感染者は除く)

	省・市	国内感染者数
北部	ハイズオン省	539
	クアンニン省	60
	ハノイ市	35
	ハイフォン市	1
南部	ホーチミン市	36
	ザライ省	27
	ビンズオン省	6

出典：ベトナム保健省コロナ関連サイトから一部抜粋

＜新型コロナ感染の再拡大＞

感染はさらに拡大し、日本企業が多く進出するハイズオン省カムザン地区のカラオケ会社の派遣社員2名の感染が見つかり、周辺工場でもぞくぞくと濃厚接触者ならびに感染者が見つかり始めました。旧正月のテト休暇開始直前にカムザン地区がロックダウンとなり、同地区所在の日本企業も工場の稼働が停止しました。テト明け2月17日からは、ベトナム政府により、PCR検査を受け陰性となったカムザン地区に居住する従業員のみでの通勤が許されたので、一部の工場では稼働が始まりましたが、外部から同エリアに入ることはできず、日本人および幹部社員の多くは、リモートでの管理業務を行う事態となっています。

＜政府の対応＞

2月17日朝6時の時点で国内感染者累計1,412人（海外帰国隔離者は除く）となり、このうち1月27日から2月16日までの間の新規感染者数は、719人と爆発的に増えています。感染者と濃厚接触者および感染地域からの入国者で、現在隔離施設等で健康状態を監視されている総人数は145,925人で、このうち病院での隔離入院者は585人です。

Covid-19 国家対策委員会より、中央直属の各省・市の人民委員会に対し緊急通達が出され、ハイズオン省カムザン地区からの往来者に対し感染テストの実施、健康状態の監視を行うことが指示されました。

また、ハイフォン市では、独自に厳しい措置を取っており、ハイズオン省からの往来および貨物の受け入れを停止し、これに従わずハイフォンに入る場合は、ハイフォンの集中隔離施設に収容し、全ての費用を本人負担とすることが求められています。2月18日、ハイフォン市より食料品以外の貨物については通行を許可すると発表され、これによりハイズオン省の日本企業での輸出入への影響は回避された模様です。

＜恐ろしいコロナウイルス感染＞

ハイズオン省では、わずか3週間で539名に感染者が増え、変異型コロナウイルスの感染力の恐ろしさを感じます。また2月14日には、ハノイ市内ホテルで、1カ月前にベトナムに赴任した日本人駐在員がホテルで亡くなっているのを発見され、その後コロナに感染していたことが判明しました。同社では他の従業員2名にも感染が確認され、同社が入居するビル全体がロックダウンされています。

北部ベトナムの多くの地域での教育施設は、オンライン学習に切替えられ、ハノイの路上飲食店や接待を伴う飲食店は、すべて閉鎖となりました。

早期に感染拡大が収まることを願うばかりです。



【ロックダウンによる道路封鎖】